

議事録

第3回 西東京市立田無第三中学校 学校運営協議会（要点記録）
日 時 令和7年9月30日（火）午前10時30分から午前11時30まで
場 所 田無第三中学校第2音楽室
出席者 宇田 剛委員、本田 雄三委員、曾我部 多美委員、島崎 寛巳委員、 伊藤 慎一委員、加藤 直美委員、鈴木 愛美委員、大久保 順子校長、 脇山 聖司副校長 委員9名中9名出席により、本会議は成立
次第1 校長挨拶
次第2 会長挨拶
次第3 （1）一学期の学校評価結果について 会 長 一学期の学校評価結果について、学校側から説明をお願いします。 《副校長より、説明》 ・教員の授業改善への意識は高い。生徒の自己決定や振り返りの充実が今後の授業改善の課題である。 ・家庭学習の指導の充実を図っていく必要がある ・教員と生徒の自主的活動に対する認識は一致、今後保護者への「見える化」が必要である。 ・相談しやすい環境整備に引き続き努める必要がある。 ・読書推進活動の肯定的な回答に低い傾向が見られる。 会 長 それでは、説明いただいたので、質問や感想、ご意見などありましたらお願いします。 委 員 家庭学習のやり方について、生徒の皆さんが課題として認識しているようですが、学校ではどのような取組を考えていますか。 校 長 4月の段階で、学習の手引を提示しました。ホームページにも公開しています。試験1週間前に、全学年試験範囲表と学習計画表を1時間程度作成する時間を取っています。ここでの指導については、今後工夫が必要であると考えています。 委 員 私の息子もそうですが、学習計画の作成は、とりあえずやっているという感じになっています。そこで、先生から、アドバイスなど一言いただけると、少しは前進するのではないかなと思います。また、計画の立て方のモデルのようなものを作って示すことも生徒の頼りになるのではないのでしょうか。 校 長 英語科でノートの作り方で良いものをずっと掲示して、どのように勉強したらよいかが分かるようにしていました。そういう取り組みが必要かもしれないと思います。 委 員 年間5回の面談について、保護者の肯定的な回答が78%でした。「分からない」という保護者もいて気になりました。規範意識については、保護者も子どもも先生も同じ気持ちで、やっぱり時間はしっかり守ろうとする考えが浸透していると思ったので、これからも継続してほしいと思います。ホームページでの情報公開などは、子どもは知らないのだなと思いました。修学旅行の時に、すぐーるで様子を伝えてもらえるのは、すごくありがたかった。様子が分かることは、安心です。生徒にも学校の様子が広報されていることをもっと知ってもらいたいなと思います。

校長 今、学習計画を生徒自身が立てて、学び進められるように授業改善をしています。今年度の研究は、教員が説明をするスタイルから、生徒が学ぶ授業を目指しています。各教科での学び方が定着してくると、家庭学習の在り方も変わっていくのではないのでしょうか。また、私も課題に感じているのが、委員の方もおっしゃった教育相談です。生徒への面談を行っていますが、保護者の方の意見をいただく機会が少ないのかなと思っています。

委員 三者面談だと、子どもがいる前で、親の心配事を伝えにくこともあるように思います。

校長 保護者の悩みを受け付けるために、すぐーるの活用など工夫ができないかと考えています。これまでもすぐーるのメッセージを見て、動くこともありました。言ってもらい、ありがたいなと思いました。

委員 皆様が言われた通り、勉強に対する進め方や読書の推進は、これまでも話題になっていました。勉強の仕方が分からなくて、授業についていけない、テストができない、落ち込んで勉強をしなくなる。このような連鎖もあるのではないのでしょうか。そのまま受験期を迎えてもどうすることもできなくなってしまう。その子たちを取り残すことはできないということは、本当に重要な点です。地域でも協力できる人で何かできれば、これは永遠のテーマだと思います。底上げがちゃんとできれば、そのような子たちも学校生活をより楽しめるだろうし、一番力を入れるところはそこなのかなと思います。

委員 私の子を見て、どのように計画を立てたらいいのかなと思っています。「分からない」が正直なところ です。

校長 様々な子どもたちがいる中で、保護者アンケートでお子さんが学校を楽しんでいる回答が90%ありました。多くの子は、楽しくやっているのではないかと思います。学校生活が楽しくない子に対しては、これから私たちもきちんと見ていかなければならないと思っています。

委員 私の子は、今年になって、学校への思いも変わり、落ち着いて生活が送れています。担任の先生や仲間に恵まれているのだと思います。助けてくれるクラスの中で成長しているように思います。学年全体がすごく変わってきたなと思っています。

委員 「学校に行くのが楽しい」というところで、先生がクラスを育てていてくれるから、変わると思っています。それだけで、この成果は素晴らしいと思います。今のやり方が基本的には正しいということの結果ではないのでしょうか。

校長 クラスづくりに一番大切なのは、行事だと思っています。運動会は良い機会でした。クラスの雰囲気もまとってきました。今回の合唱コンクールでまた一段と変わってくると思います。担任は、一日の中で生徒と向き合える機会は朝と帰りの学活です。若手の教員には、この機会に生徒に熱く語る大事さを伝えていきたい。

委員 私はこの評価結果の数値を見て、評価を厳しくされているのかなと思いました。評価は、次へのつながりでもあります。見直してみると、定期考査の学習計画の話題が多いのですが、私は今、中学生といろんな心理的なアプローチをしてから学習するように取り組んでいます。最初、私も定期考査の学習計画を立てさせているが、結果になかなか結びついていかない。時間も限られている。そういうときは、「あなたの得意な教科、その中でも得意な内容がありますよね。」「だからそこを中心にやろうよ」という感じでと、やる

気を出させています。それが、次のもう1歩に繋がるのではないのでしょうか。小学校だと学級担任制だから、ずっと教室の子どもたちを見ているので、多くの時間で子どもの顔を見ることができます。中学校だと、クラスで目標を一つもつ機会は、やはり行事しかないだろうなというのは思いました。

委員 子どもたちの様子も昔と変わってきていると思います。これをカバーするのは先生だけでは本当に大変なことで、地域の力をお借りすることは大切だと思います。小さい子や高齢者との交流もよいのではないのでしょうか。

次第3(2) 学期当初の学校活動の状況について

《副校長から報告》

- ・自立した生徒の育成と授業改善について
- ・質問教室・自習教室の参加者状況について
- ・行事の充実について 合唱コンクール 道徳授業地区公開講座
- ・小中連携とキャリア教育の推進について
- ・国際理解教育の推進 TGG英語体験活動 海外の学校と手紙による国際交流

会長 今報告いただいた説明の中で、キャリア教育の職業講話について、2年生で実施したのですか。

委員 私が毎年、コーディネートしています。今回は3人の講師の方に、1人10分、自分の仕事の話をしていただきました。1年生の先生方からも要望をいただいたので、3学期にできればと考えています。

次第3(3) その他

会長 その他、この場での話にしたいことがあれば、お願いします。

委員 前回授業を参観したので、また機会があればお願いしたいです。

校長 次回の12月、調整したいと思います。授業参観ですが、11月に道徳授業地区公開講座があります。普段の授業も公開します。ぜひ、お越しいただければ幸いです。

次第4 事務連絡

副校長 次回は、12月19日(金)午後2時30分から開催する予定です。

以上をもちまして、第3回学校運営協議会を終了します。